

学 期	月	時 限	教科書 ページ	項目 (タイトル)	学習課題	評価規準の具体例 ①＝知識・技能 ②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度
1 部 1 章 地図と地理情報システム					【この章で学ぶこと】 地図は、地表面におけるさまざまな事象を空間的に整理する手だてである。ある事象は「どこ」でよくみられ、「どこ」であまりみられないのだろうか。地図は、そのありさまを位置や分布の観点から把握し、その背景や理由を考察するためのツールでもある。また近年では、地理情報システム（GIS）の利用が進んでいる。この章では、地図の役割や有用性を理解するとともに、「位置」や「分布」に着目して、地図やGIS の利用方法について考えていこう。	【章の評価規準】 ①日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などをもとに、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身につけている。 ②地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1 節 地球上の位置と時差					【節の主題】 地球上の位置は緯度や経度で表すことができる。地球上の位置の違いは、私たちの生活にどのような影響を与えているのだろうか。また、時差は私たちの生活とどのように結びついているのだろうか。	
1	4	1	p.6-7	1 地球上の位置と私たちの生活	緯度の違いは、私たちの生活にどのような影響を与えているのだろうか。	①緯度・経度の基本的なしくみ、緯度の違いが生活に与える影響について理解している。 ②緯度・経度の基本的なしくみ、緯度の違いが生活に与える影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③緯度・経度の基本的なしくみ、緯度の違いが生活に与える影響について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1	4	1	p.8	2 時差と私たちの生活	時刻の違い(時差)は、私たちの生活にどのような影響を与えているのだろうか。	①時差のしくみ、時差が生活に与える影響について理解している。 ②時差のしくみ、時差が生活に与える影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③時差のしくみ、時差が生活に与える影響について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2 節 地図の役割と種類					【節の主題】 私たちの身の回りには、さまざまな地図があふれている。地図や地理情報システムにはどのような役割や種類があるのだろうか。また、私たちの生活にどのように役立っているのだろうか。	

年間指導計画案・評価規準例 帝国書院「高等学校 新地理総合」 地総046-901

※一部変更の可能性がございます。あらかじめご了承ください。

1	4	2	p.10-11	1 地球儀と地図	なぜ、地図にはさまざまな図法があるのだろうか。	①球体の地球と平面の地図の違い、さまざまな地図投影法（図法）の特性について理解している。 ②球体の地球と平面の地図の違い、さまざまな地図投影法（図法）の特性について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③球体の地球と平面の地図の違い、さまざまな地図投影法（図法）の特性について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1	4	2	p.12-13	2 身の回りの地図	主題図と一般図には、それぞれどのような表現方法や用途があるのだろうか。	①身の回りの主題図やさまざまな一般図の表現方法や用途について理解している。 ②身の回りの主題図やさまざまな一般図の表現方法や用途について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③身の回りの主題図やさまざまな一般図の表現方法や用途について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1	4	3	p.16-17	3 統計地図の種類と利用	統計地図にはどのような種類があり、どのように使い分けられているのだろうか。	①統計地図の種類、統計地図の比較と使い分けについて理解しており、基礎的・基本的な技能を身につけている。 ②統計地図の種類、統計地図の比較と使い分けについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③統計地図の種類、統計地図の比較と使い分けについて、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1	4	3	p.20-21	4 地理情報システム（GIS）の利用	地理情報システム（GIS）は、どのように利用されているのだろうか。	①身近に使われている地理情報システム（GIS）のしくみやこれを支える技術、GISの利用場面について理解しており、基礎的・基本的な技能を身につけている。 ②身近に使われている地理情報システム（GIS）のしくみやこれを支える技術、GISの利用場面について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③身近に使われている地理情報システム（GIS）のしくみやこれを支える技術、GISの利用場面について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1	4	4	p.24-25	【アクティブ】 テーマパークをどこに作る？	テーマパークをどこに作る？『アクセスWebGIS』を使って立地を考えよう。	【アクティブでの評価規準】 ①テーマパークをどこに立地させるかという課題について、GIS（地理情報システム）で得た地図を用いて、必要な情報を読み取る技能を身につけている。 ②テーマパークをどこに立地させるかという課題について、さまざまな地図から得た地域の特徴に着目して、立地を検討するための指標を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③テーマパークをどこに立地させるかという課題について、指標の整理や立地の決定に主体的に取り組み、追究・解決しようとしている。

1部2章 結びつきを深める現代世界					【この章で学ぶこと】 現代世界では国家を単位として多くの国々が連携・協力し、国際社会を築いている。交通や通信が発達し、観光や貿易が拡大したことによって、国際社会におけるヒト・モノ・カネの動きはどのように変化し、身近な地域の様子はどうか変容したのだろうか。この章では、国際社会における国家の役割を理解するとともに、「位置」や「分布」に着目しながら、多様な「他地域との結びつき」について考えていこう。	【章の評価規準】 ①現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などをもとに、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきについて理解している。 ②現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1節 現代世界の国家と領域					【節の主題】 世界にはさまざまな国家がある。国家の領域や国境はどのように定まっているのだろうか。また、日本の位置や領域にはどのような特徴があるのだろうか。	
1	4	5	p.28-29	1 現代世界の国家	国家の領域や国境にはどのようなきまりがあるのだろうか。	①国境の種類、国家の領域、国家と主権について理解している。 ②国境の種類、国家の領域、国家と主権について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③国境の種類、国家の領域、国家と主権について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1	4	5	p.30-31	2 日本の位置と領域	日本の位置や領域、排他的経済水域にはどのような特徴があるのだろうか。	①日本の位置と領域、排他的経済水域の特徴、日本の領土をめぐる問題について理解している。 ②日本の位置と領域、排他的経済水域の特徴、日本の領土をめぐる問題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③日本の位置と領域、排他的経済水域の特徴、日本の領土をめぐる問題について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2節 グローバル化する世界					【節の主題】 グローバル化に伴い、貿易や交通、通信、観光など、世界の国々を結びつける要素には変化がみられる。世界の国々は、これらの要素によってどのように結びついているのだろうか。	

年間指導計画案・評価規準例 帝国書院「高等学校 新地理総合」 地総046-901

※一部変更の可能性がございます。あらかじめご了承ください。

1	4	6	p.32-33	1 国家間の結びつき	世界の国々の結びつきは、時代とともにどのように変化してきたのだろうか。	①国際関係と紛争、国連が果たす役割、経済のグローバル化と地域ごとの経済的な結びつきについて理解している。 ②国際関係と紛争、国連が果たす役割、経済のグローバル化と地域ごとの経済的な結びつきについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③国際関係と紛争、国連が果たす役割、経済のグローバル化と地域ごとの経済的な結びつきについて、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1	4	6	p.34-35	2 貿易によって結びつく世界	世界の国々で行われている貿易には、どのような特徴や課題があるのだろうか。	①暮らしを支える貿易、貿易の変化と国際分業の特徴、自由化する世界の貿易について理解している。 ②暮らしを支える貿易、貿易の変化と国際分業の特徴、自由化する世界の貿易について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③暮らしを支える貿易、貿易の変化と国際分業の特徴、自由化する世界の貿易について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1	5	7	p.36-37	3 さまざまな交通網の発達	私たちの生活を支える交通網は、どのように発達してきたのだろうか。	①縮小する時間距離、陸上交通の発達と都市の拡大、貿易を支える海上交通の発達、世界を結ぶ航空交通の発達について理解している。 ②縮小する時間距離、陸上交通の発達と都市の拡大、貿易を支える海上交通の発達、世界を結ぶ航空交通の発達について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③縮小する時間距離、陸上交通の発達と都市の拡大、貿易を支える海上交通の発達、世界を結ぶ航空交通の発達について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1	5	8	p.38-39	4 世界を結ぶ通信網の発達	通信網の発達により、私たちの生活はどのように変化しているのだろうか。	①通信技術の発達と一体化する世界、情報通信技術の発達で変化する生活、情報通信技術が生み出す格差について理解している。 ②通信技術の発達と一体化する世界、情報通信技術の発達で変化する生活、情報通信技術が生み出す格差について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③通信技術の発達と一体化する世界、情報通信技術の発達で変化する生活、情報通信技術が生み出す格差について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1	5	9	p.40-41	5 観光のグローバル化	グローバル化によって、観光はどのように変化したのだろうか。	①観光のグローバル化、多様化する観光の形態について理解している。 ②観光のグローバル化、多様化する観光の形態について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③観光のグローバル化、多様化する観光の形態について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

2部1章 生活文化の多様性と国際理解					【この章で学ぶこと】	【章の評価規準】
					世界にはさまざまな生活文化がみられる。それらは人間が環境から影響を受け、あるいは環境に働きかけた結果、つくり出されたものであり、今後でも変容を続けるであろう。そうした生活文化は、それを育んだ自然環境や社会環境とどのように関わってきたのだろうか。この章では、地球上の「場所」の特徴や、その「場所」における「人間と自然の関わり」に着目して、世界各地の生活文化の特徴を理解し、その多様性や変容の背景について考えていこう。	①世界の人々の特色ある生活文化をもとに、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 世界の人々の特色ある生活文化をもとに、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 ②世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
序説 生活文化の多様性						
1	5	10	p.44-45	1 生活文化を考察する方法	世界各地の多様な生活文化を考察するには、どのような方法があるのだろうか。	①生活文化の多様性や生活文化を考察する方法、国際理解の重要性について理解している。 ②生活文化の多様性や生活文化を考察する方法、国際理解の重要性について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③生活文化の多様性や生活文化を考察する方法、国際理解の重要性について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1節 世界の地形と人々の生活					【節の主題】	
					地球上には、高く険しい山脈や広大な平原、深い谷などの多様な地形がある。人々はこうした地形とどのように関わっているのだろうか。そして、世界各地ではどのような生活が営まれているのだろうか。	
1	5	11	p.46-47	1 生活の舞台となる地形	多様な地形は、人々の生活とどのように関わっているのだろうか。	①人々の生活と深く関わる地形、地形をつくる力、大地形を構成する変動帯と安定地域について理解している。 ②人々の生活と深く関わる地形、地形をつくる力、大地形を構成する変動帯と安定地域について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③人々の生活と深く関わる地形、地形をつくる力、大地形を構成する変動帯と安定地域について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

1	5	11	p.48-49	2 大地形と人々の生活	大地形は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	①変動帯の地形と生活の関わり、安定地域の地形と生活との関わりについて理解している。 ②変動帯の地形と生活の関わり、安定地域の地形と生活との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③変動帯の地形と生活の関わり、安定地域の地形と生活との関わりについて、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1	5	12	p.50-51	3 河川がつくる地形と人々の生活	河川がつくる地形は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	①河川がつくる地形と生活の関わり、上・中流域の地形と生活への影響、下流域の地形と生活への影響について理解している。 ②河川がつくる地形と生活の関わり、上・中流域の地形と生活への影響、下流域の地形と生活への影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③河川がつくる地形と生活の関わり、上・中流域の地形と生活への影響、下流域の地形と生活への影響について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1	5	13	p.52-53	4 海岸の地形と人々の生活	海岸にみられる地形は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	①海の恵みを生かした産業、海岸の地形と生活の関わりについて理解している。 ②海の恵みを生かした産業、海岸の地形と生活の関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③海の恵みを生かした産業、海岸の地形と生活の関わりについて、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1	5	14	p.54-55	5 氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と人々の生活	氷河・乾燥・カルスト地形は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	①氷河地形と生活の関わり、乾燥地形と生活の関わり、カルスト地形と生活の関わりについて理解している。 ②氷河地形と生活の関わり、乾燥地形と生活の関わり、カルスト地形と生活の関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③氷河地形と生活の関わり、乾燥地形と生活の関わり、カルスト地形と生活の関わりについて、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2節 世界の気候と人々の生活					【節の主題】 気温の高低や降水量の多少、風の向きや強弱は場所によって異なる。場所によって気候に違いが生じるのはなぜだろうか。また、人々の生活は気候とどのように関わり合っているのだろうか。	
1	6	15	p.58-59	1 気温・降水量と人々の生活	気温や降水量は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	①気候が生活に与える影響、気温の違いとそのしくみ、降水量の違いとそのしくみについて理解している。 ②気候が生活に与える影響、気温の違いとそのしくみ、降水量の違いとそのしくみについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③気候が生活に与える影響、気温の違いとそのしくみ、降水量の違いとそのしくみについて、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

年間指導計画案・評価規準例 帝国書院「高等学校 新地理総合」 地総046-901

※一部変更の可能性がございます。あらかじめご了承ください。

1	6	16	p.60-61	2 大気大循環と人々の生活	風は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	①大気大循環と恒常風のしくみ、降水量の地域差と季節変化のしくみ、季節風（モンスーン）のしくみと、これらが生活に与える影響について理解している。 ②大気大循環と恒常風のしくみ、降水量の地域差と季節変化のしくみ、季節風（モンスーン）のしくみと、これらが生活に与える影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③大気大循環と恒常風のしくみ、降水量の地域差と季節変化のしくみ、季節風（モンスーン）のしくみと、これらが生活に与える影響について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1	6	17	p.62-63	3 世界の植生と気候分布	世界各地のさまざまな植生は、気候とどのように関わり合っているのだろうか。	①植生に着目したケッペンの気候区分の考え方について理解している。 ②植生に着目したケッペンの気候区分の考え方について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③植生に着目したケッペンの気候区分の考え方について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1	6	18	p.66-67	4 熱帯の生活	熱帯の気候と植生は、人々の生活とどのように関わり合っているのだろうか。	①高温多湿な熱帯の気候・植生と生活との関わりについて理解している。 ②高温多湿な熱帯の気候・植生と生活との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③高温多湿な熱帯の気候・植生と生活との関わりについて、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1	6	18	p.68-69	5 乾燥帯の生活	乾燥帯の気候と植生は、人々の生活とどのように関わり合っているのだろうか。	①水の少ない乾燥帯の気候・植生と生活との関わりについて理解している。 ②水の少ない乾燥帯の気候・植生と生活との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③水の少ない乾燥帯の気候・植生と生活との関わりについて、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1	6	19	p.70-71	6 温帯の生活	温帯の気候と植生は、人々の生活とどのように関わり合っているのだろうか。	①四季のある温帯の気候・植生と生活との関わりについて理解している。 ②四季のある温帯の気候・植生と生活との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③四季のある温帯の気候・植生と生活との関わりについて、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

1	6	20	p.72-73	7 亜寒帯・寒帯の生活	亜寒帯・寒帯の気候と植生は、人々の生活とどのように関わり合っているのだろうか。	①冬が長い亜寒帯の気候・植生と生活との関わり、雪と氷に覆われる寒帯の気候・植生と生活との関わりについて理解している。 ②冬が長い亜寒帯の気候・植生と生活との関わり、雪と氷に覆われる寒帯の気候・植生と生活との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③冬が長い亜寒帯の気候・植生と生活との関わり、雪と氷に覆われる寒帯の気候・植生と生活との関わりについて、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
選択事例 自然① モンスーンの影響を受ける地域での生活 —東南アジア—					【事例の主題】 東南アジアは、季節風（モンスーン）の影響を強く受けてきた地域である。このような気候を生かして、東南アジアではどのような生活文化が育まれてきたのだろうか。	
1	7	21※	p.76-77	1 モンスーンの影響と人々の生活	季節風(モンスーン)は、東南アジアの人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	①季節風（モンスーン）の影響を受ける人々の生活、モンスーンを利用した交易の歴史、さまざまな民族が共に暮らす社会について理解している。 ②季節風（モンスーン）の影響を受ける人々の生活、モンスーンを利用した交易の歴史、さまざまな民族が共に暮らす社会について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③季節風（モンスーン）の影響を受ける人々の生活、モンスーンを利用した交易の歴史、さまざまな民族が共に暮らす社会について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1	7	22※	p.78-79	2 気候を生かした農業と人々の生活	東南アジアでは、気候を生かしてどのような農業が発達してきたのだろうか。	①季節風（モンスーン）を生かした稲作と米食文化、熱帯の気候を生かした商品作物の栽培について理解している。 ②季節風（モンスーン）を生かした稲作と米食文化、熱帯の気候を生かした商品作物の栽培について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③季節風（モンスーン）を生かした稲作と米食文化、熱帯の気候を生かした商品作物の栽培について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
選択事例 自然② 多様な気候から影響を受ける人々の生活 —オセアニア—					【事例の主題】 乾燥した大陸と多くの島々からなるオセアニアは、気候や地形が多様である。このような自然環境を生かして、どのような生活文化や産業が育まれてきたのだろうか。	
1	7	21※	p.80-81	1 多様な気候に育まれた生活文化	多様な自然環境は、人々の暮らしにどのような影響を与えているのだろうか。	①多様な気候が人々の生活に与える影響、多くの観光客を魅了する地形の特徴について理解している。 ②多様な気候が人々の生活に与える影響、多くの観光客を魅了する地形の特徴について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③多様な気候が人々の生活に与える影響、多くの観光客を魅了する地形の特徴について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

1	7	22 ※	p.82-83	2 気候を生かした農業と生活	オセアニアの人々は、自然環境をどのように産業に生かしているのだろうか。	①自然環境を生かした農業と食生活、端境期を利用したオセアニアの農業の特徴について理解している。 ②自然環境を生かした農業と食生活、端境期を利用したオセアニアの農業の特徴について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③自然環境を生かした農業と食生活、端境期を利用したオセアニアの農業の特徴について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
3節 世界の言語・宗教と人々の生活					【節の主題】 世界には、日本とは異なる言語を話す民族が存在し、さまざまな宗教が信仰されている。言語や宗教は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	
1	7	23	p.84-85	1 世界の言語と人々の生活文化	言語は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	①言語と民族の関わり、公用語が与える人々の生活への影響について理解している。 ②言語と民族の関わり、公用語が与える人々の生活への影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③言語と民族の関わり、公用語が与える人々の生活への影響について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1	7	24	p.86-87	2 世界の宗教と人々の生活文化	宗教は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	①宗教の食生活への影響、宗教と生活の関わりについて理解している。 ②宗教の食生活への影響、宗教と生活の関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③宗教の食生活への影響、宗教と生活の関わりについて、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
選択事例 宗教① イスラームと人々の生活 —中央アジア・西アジア・北アフリカ—					【事例の主題】 中央アジアから北アフリカにかけての地域では、イスラームを信仰する人が多い。この地域の生活文化は、宗教からどのような影響を受けているのだろうか。	
1	7	25 ※	p.88-89	1 イスラームを中心とした生活文化	イスラームは、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	①イスラームによるムスリムの生活への影響、地域によって異なる言語と生活習慣について理解している。 ②イスラームによるムスリムの生活への影響、地域によって異なる言語と生活習慣について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③イスラームによるムスリムの生活への影響、地域によって異なる言語と生活習慣について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

1	7	26※	p.90-91	2 変化するムスリムの生活	国の経済が発展するなかで、ムスリムの生活はどのように変化しているのだろうか。	①石油収入がもたらした生活の変化、イスラームの教えと国際化への対応、地域が抱える課題について理解している。 ②石油収入がもたらした生活の変化、イスラームの教えと国際化への対応、地域が抱える課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③石油収入がもたらした生活の変化、イスラームの教えと国際化への対応、地域が抱える課題について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
選択事例 宗教② ヒンドゥー教と人々の生活—インド—					【事例の主題】 インドには、大勢のヒンドゥー教徒が暮らしている。インドの人々の暮らしに、ヒンドゥー教はどのように関わっているのだろうか。	
1	7	25※	p.92-93	1 ヒンドゥー教と共にある生活	ヒンドゥー教の教えは、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	①ヒンドゥー教が人々に与える生活への影響、南アジアの民族とその歩み、多様な言語と生活文化への影響について理解している。 ②ヒンドゥー教が人々に与える生活への影響、南アジアの民族とその歩み、多様な言語と生活文化への影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ヒンドゥー教が人々に与える生活への影響、南アジアの民族とその歩み、多様な言語と生活文化への影響について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1	7	26※	p.94-95	2 変化するヒンドゥー教徒の生活	経済発展で、ヒンドゥー教徒の生活はどのように変化しているのだろうか。	①ICT産業の発展や経済成長による生活の変化、それによる農業への影響と残された課題について理解している。 ②ICT産業の発展や経済成長による生活の変化、それによる農業への影響と残された課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ICT産業の発展や経済成長による生活の変化、それによる農業への影響と残された課題について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
4節 歴史的背景と人々の生活					【節の主題】 世界各地の多様な環境の下で育まれてきた生活文化は、さまざまなできごとを積み重ねることによって変化を遂げてきた。このような歴史的な背景は、人々の生活文化にどのような影響を与えてきたのだろうか。	
2	9	27	p.96-97	1 歴史的背景が人々の生活に与える影響	さまざまな歴史的背景は、人々の生活にどのような影響を与えてきたのだろうか。	①生活文化に影響を与えた歴史的背景、冷戦時代の体制が生活に与える影響について理解している。 ②生活文化に影響を与えた歴史的背景、冷戦時代の体制が生活に与える影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③生活文化に影響を与えた歴史的背景、冷戦時代の体制が生活に与える影響について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

選択事例 歴史① 結びつきの歴史 と人々の生活 —ラテンアメリカ—					【事例の主題】	
2	9	28	※	p.98-99	1 ヨーロッパ社会の影響が強い文化	ラテンアメリカには、さまざまな地域の人々が移り住んできた。多様な文化の融合によって、どのような生活文化が形成されてきたのだろうか。 さまざまな民族の流入は、人々の生活文化にどのような影響を与えているのだろうか。 ①多様な民族や文化が混ざり合う社会、大土地所有制による農業と社会構造について理解している。 ②多様な民族や文化が混ざり合う社会、大土地所有制による農業と社会構造について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③多様な民族や文化が混ざり合う社会、大土地所有制による農業と社会構造について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2	9	29	※	p.100-101	2 外国資本による工業化と生活の変化	外国資本による工業化は、人々の生活にどのような影響を与えたのだろうか。 ①鉱産資源を基盤とした工業化、経済発展による生活の変化について理解している。 ②鉱産資源を基盤とした工業化、経済発展による生活の変化について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③鉱産資源を基盤とした工業化、経済発展による生活の変化について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
選択事例 歴史② 植民地支配の歴史 と人々の生活 —サハラ以南アフリカ—					【事例の主題】	
2	9	28	※	p.102-103	1 生活文化や産業に残る旧宗主国の影響	サハラ以南アフリカでは、ほとんどの国が植民地支配を受けた。植民地支配の歴史と人々の生活文化や産業は、どのように関わっているのだろうか。 植民地支配の歴史は、人々の生活文化や産業にどのような影響を与えているのだろうか。 ①植民地支配の歴史と人々の生活文化への影響、植民地支配の影響が残る産業について理解している。 ②植民地支配の歴史と人々の生活文化への影響、植民地支配の影響が残る産業について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③植民地支配の歴史と人々の生活文化への影響、植民地支配の影響が残る産業について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2	9	29	※	p.104-105	2 急速に変化する環境と人々の生活	経済発展や新しい結びつきにより、人々の生活はどのように変化してきているのだろうか。 ①人口増加と経済発展の関係と課題、最新技術で変わる人々の生活、新しい結びつきと国際的な支援の動向について理解している。 ②人口増加と経済発展の関係と課題、最新技術で変わる人々の生活、新しい結びつきと国際的な支援の動向について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③人口増加と経済発展の関係と課題、最新技術で変わる人々の生活、新しい結びつきと国際的な支援の動向について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
選択事例 歴史③ 国家体制の変化 と人々の生活 —ロシア—					【事例の主題】	
					ロシアはかつて社会主義国だったが、1990年代に国家体制が変化し、現在は新しい国づくりを進めている。国家体制の変化は、人々の生活や社会にどのような影響を与えたのだろうか。	

年間指導計画案・評価規準例 帝国書院「高等学校 新地理総合」 地総046-901

※一部変更の可能性がございます。あらかじめご了承ください。

2	9	28	p.106 ※ -107	1 国家体制の変化と人々の生活	国家体制が激変したロシアでは、人々の生活にどのような変化が生じたのだろうか。	①国家体制の転換と人々の生活の変化、ロシアの文化と多様な民族について理解している。 ②国家体制の転換と人々の生活の変化、ロシアの文化と多様な民族について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③国家体制の転換と人々の生活の変化、ロシアの文化と多様な民族について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2	9	29	p.108 ※ -109	2 変化するロシアの生活と産業	国家体制が変わるなかで、ロシアの産業はどのように変化したのだろうか。	①ダーチャが支える食生活、経済成長と産業の変化・格差の拡大について理解している。 ②ダーチャが支える食生活、経済成長と産業の変化・格差の拡大について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ダーチャが支える食生活、経済成長と産業の変化・格差の拡大について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
5節 世界の産業と人々の生活					【節の主題】 人々は、地域の自然環境などを生かして産業を発展させてきた。産業の発展は、人々の生活にどのような影響を与えてきたのだろうか。また、産業のグローバル化によって、人々の生活はどのように変化してきたのだろうか。	
2	9	30	p.110 -111	1 人々の生活を支える農業の発展	農業の発展は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	①人々の工夫と農業の発展、農業の発展と生産性、農業の近代化とその課題について理解している。 ②人々の工夫と農業の発展、農業の発展と生産性、農業の近代化とその課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③人々の工夫と農業の発展、農業の発展と生産性、農業の近代化とその課題について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2	9	31	p.112 -113	2 人々の生活を支える工業の発展	工業の発展は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	①工業の発展と生活の変化、工業生産の地域差について理解している。 ②工業の発展と生活の変化、工業生産の地域差について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③工業の発展と生活の変化、工業生産の地域差について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2	9	32	p.114 -115	3 産業のグローバル化と人々の生活	産業のグローバル化は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	①企業活動のグローバル化と人々の生活への影響、脱工業化社会と人々の生活への影響について理解している。 ②企業活動のグローバル化と人々の生活への影響、脱工業化社会と人々の生活への影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③企業活動のグローバル化と人々の生活への影響、脱工業化社会と人々の生活への影響について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

選択事例 産業① 人々の生活を支える産業とグローバルな結びつき —アメリカ合衆国—					【事例の主題】	
2	9	33※	p.116 -117	1 食を支える農業とグローバルな結びつき	アメリカ合衆国の農業は、世界の人々の食生活や農業にどのような影響を与えているのだろうか。	①広大な国土を生かした大規模な農業、アグリビジネス企業とその影響について理解している。 ②広大な国土を生かした大規模な農業、アグリビジネス企業とその影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③広大な国土を生かした大規模な農業、アグリビジネス企業とその影響について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2	10	34※	p.118 -119	2 生活を便利にする産業の発展	アメリカ合衆国の知識産業や鉱工業は、世界にどのような影響を与えているのだろうか。	①世界標準を生み出すICT産業、産業構造の変化とサンベルトの台頭、国際社会に与える影響と変化について理解している。 ②世界標準を生み出すICT産業、産業構造の変化とサンベルトの台頭、国際社会に与える影響と変化について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③世界標準を生み出すICT産業、産業構造の変化とサンベルトの台頭、国際社会に与える影響と変化について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2	10	35※	p.120 -121	3 産業の発展を支えてきた移民の力	アメリカ合衆国の産業力は、どのような社会的背景の下で育まれてきたのだろうか。	①集まる世界の人材、移民国家としての発展、多民族国家で生まれた文化について理解している。 ②集まる世界の人材、移民国家としての発展、多民族国家で生まれた文化について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③集まる世界の人材、移民国家としての発展、多民族国家で生まれた文化について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
選択事例 産業② 経済成長による人々の生活の変化 —東アジア—					【事例の主題】	
2	9	33※	p.122 -123	1 東アジアの経済成長とその歩み	東アジアの国・地域は、どのような歩みを経て、経済成長を遂げてきたのだろうか。	①東アジアの急速な経済成長とその影響を受けた生活の変化、市場経済の導入で成長した中国について理解している。 ②東アジアの急速な経済成長とその影響を受けた生活の変化、市場経済の導入で成長した中国について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③東アジアの急速な経済成長とその影響を受けた生活の変化、市場経済の導入で成長した中国について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

2	10	34※	p.124 -125	2 経済成長による中国の生活の変化	経済成長によって、中国の人々の生活はどのように変化したのだろうか。	①中国の経済格差と人口の移動、深刻な環境問題について理解している。 ②中国の経済格差と人口の移動、深刻な環境問題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③中国の経済格差と人口の移動、深刻な環境問題について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2	10	35※	p.126 -127	3 経済成長による韓国の生活の変化	経済成長によって、韓国の人々の生活はどのように変化したのだろうか。	①韓国の首都圏への一極集中、現代に息づく韓国の伝統文化、経済成長の背景と輸出を重視する政策について理解している。 ②韓国の首都圏への一極集中、現代に息づく韓国の伝統文化、経済成長の背景と輸出を重視する政策について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③韓国の首都圏への一極集中、現代に息づく韓国の伝統文化、経済成長の背景と輸出を重視する政策について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
選択事例 産業③ 環境に配慮した産業と人々の生活 —ヨーロッパ—					【事例の主題】 ヨーロッパでは、環境保全の意識が人々に浸透しており、さまざまな取り組みがみられる。環境に配慮した産業は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	
2	9	33※	p.128 -129	1 伝統と環境を大切にする生活	伝統と環境を大切にする生活の背景には、どのような文化や歴史があるのだろうか。	①伝統と環境を大切にするまちづくり、キリスト教に根ざした文化、ヨーロッパ統合への歩みとその背景について理解している。 ②伝統と環境を大切にするまちづくり、キリスト教に根ざした文化、ヨーロッパ統合への歩みとその背景について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③伝統と環境を大切にするまちづくり、キリスト教に根ざした文化、ヨーロッパ統合への歩みとその背景について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2	10	34※	p.130 -131	2 多様な食文化と環境への配慮で変わる農業	環境への配慮によって、ヨーロッパの農業はどのように変化したのだろうか。	①地域で異なる食文化と農業、共通農業政策の影響と課題、環境に配慮した農業の広まりについて理解している。 ②地域で異なる食文化と農業、共通農業政策の影響と課題、環境に配慮した農業の広まりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地域で異なる食文化と農業、共通農業政策の影響と課題、環境に配慮した農業の広まりについて、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

2	10	35 ※	p.132 -133	3 環境に配慮した工業と生活	環境への配慮によって、ヨーロッパの工業と生活はどのように変化したのだろうか。	①物を大切にする文化、国境を越えて結びつく工業、環境に配慮したもののづくりへの転換について理解している。 ②物を大切にする文化、国境を越えて結びつく工業、環境に配慮したもののづくりへの転換について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③物を大切にする文化、国境を越えて結びつく工業、環境に配慮したもののづくりへの転換について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2部2章 地球的課題と国際協力					【この章で学ぶこと】 私たちが暮らす現代世界には、地球環境問題や資源・エネルギー問題、人口問題、食料問題、都市・居住問題などのさまざまな地球的課題がある。これらは相互に、かつ広範囲に関連し合っているため、その解決に向けては国の枠を超えた世界的な取り組みが不可欠である。この章では、「地域の特徴」や、「他地域との結びつき」に着目しながら、持続可能な社会をつくるために、今後どのような取り組みが必要になるのか考えていこう。	【章の評価規準】 ①世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などをもとに、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などをもとに、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。 ②世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結びつきや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
序説 地球的課題と持続可能な社会						
2	10	36	p.136 -137	1 相互かつ複雑に関連し合う地球的課題	地球的課題の背景には、どのような問題があるのだろうか。	①地球的課題の背景にある経済格差、持続可能な社会を目指すための取り組みについて理解している。 ②地球的課題の背景にある経済格差、持続可能な社会を目指すための取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地球的課題の背景にある経済格差、持続可能な社会を目指すための取り組みについて、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1節 地球環境問題					【節の主題】 私たちが暮らす地球の各地では、人間の経済活動などにより、さまざまな地球環境問題が生じている。世界ではどのような地球環境問題がみられ、どのような取り組みが行われているのだろうか。	

年間指導計画案・評価規準例 帝国書院「高等学校 新地理総合」 地総046-901

※一部変更の可能性がございます。あらかじめご了承ください。

2	10	37	p.138 -139	1 多様な地球環境問題	地球環境問題にはどのような種類があり、どのような原因で発生するのだろうか。	①さまざまな地球環境問題の種類とその背景について理解している。 ②さまざまな地球環境問題の種類とその背景について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③さまざまな地球環境問題の種類とその背景について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2	10	38	p.140 -141	2 熱帯林の破壊への対策	熱帯林の破壊は、どこで進行しているのだろうか。また、その理由は何だろうか。	①熱帯林の破壊が進行する地域とその理由、インドネシアでの取り組みについて理解している。 ②熱帯林の破壊が進行する地域とその理由、インドネシアでの取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③熱帯林の破壊が進行する地域とその理由、インドネシアでの取り組みについて、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2	10	39	p.142 -144	3 地球温暖化への対策	地球温暖化はなぜ起こり、自然環境や人々の生活にどのような影響を及ぼすのだろうか。	①地球温暖化の原因と影響、地球温暖化の対策と課題、モデルディプでの取り組み、日本の地球温暖化対策について理解している。 ②地球温暖化の原因と影響、地球温暖化の対策と課題、モデルディプでの取り組み、日本の地球温暖化対策について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地球温暖化の原因と影響、地球温暖化の対策と課題、モデルディプでの取り組み、日本の地球温暖化対策について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2	10	40	p.146 -147	【アクティブ】二酸化炭素をどう削減する？	二酸化炭素をどう削減する？現状を整理して、日本が目指すべき将来の立場を考えよう。	【アクティブでの評価規準】 ①二酸化炭素をどう削減するかという課題について、写真やデータを用いて、必要な情報を読み取る技能を身につけている。 ②二酸化炭素をどう削減するかという課題について、各国の経済状況や二酸化炭素の排出状況に着目して、経済状況と排出量の関係を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③二酸化炭素をどう削減するかという課題について、日本の排出量削減とその実現に向けての提案に主体的に取り組む、追究・解決しようとしている。
2節 資源・エネルギー問題					【節の主題】 私たちが日常生活を営むうえで、資源やエネルギーは欠かせない。世界の資源やエネルギーの利用にはどのような課題があるのだろうか。また、持続可能なエネルギーの利用方法とは、どのようなものだろうか。	

年間指導計画案・評価規準例 帝国書院「高等学校 新地理総合」 地総046-901

※一部変更の可能性がございます。あらかじめご了承ください。

2	11	41	p.148 -149	1 世界のエネルギー・鉱産資源	エネルギー資源や鉱産資源は、どのように利用されてきたのだろうか。	①エネルギーの種類と資源利用の変化、国によって異なる電力構成、鉱産資源の利用について理解している。 ②エネルギーの種類と資源利用の変化、国によって異なる電力構成、鉱産資源の利用について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③エネルギーの種類と資源利用の変化、国によって異なる電力構成、鉱産資源の利用について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2	11	42	p.150 -151	2 エネルギー利用の現状と課題	エネルギーの利用にはどのような課題があり、どのように解決したらよいのだろうか。	①エネルギーの生産と消費の不均衡、原油をめぐる世界的な動き、エネルギー問題の解決に向けた取り組みについて理解している。 ②エネルギーの生産と消費の不均衡、原油をめぐる世界的な動き、エネルギー問題の解決に向けた取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③エネルギーの生産と消費の不均衡、原油をめぐる世界的な動き、エネルギー問題の解決に向けた取り組みについて、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2	11	43	p.152 -154	3 地域で異なるエネルギー問題	エネルギー問題への取り組みには、どのような地域的差異がみられるのだろうか。	①バイオエタノールに力を入れるブラジルの取り組み、洋上風力発電に力を入れるデンマークの取り組み、日本のエネルギー問題について理解している。 ②バイオエタノールに力を入れるブラジルの取り組み、洋上風力発電に力を入れるデンマークの取り組み、日本のエネルギー問題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③バイオエタノールに力を入れるブラジルの取り組み、洋上風力発電に力を入れるデンマークの取り組み、日本のエネルギー問題について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2	11	44	p.156 -157	【アクティブ】日本にとって最適な電源構成は？	日本にとって最適な電源構成は？大規模集中型発電と小規模分散型発電を比較して考えよう。	【アクティブでの評価規準】 ①日本にとって最適な電源構成とは何かという課題について、写真や資料を用いて、必要な情報を読み取る技能を身につけている。 ②日本にとって最適な電源構成とは何かという課題について、大規模集中型発電と小規模分散型発電に着目して、メリットやデメリットを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③日本にとって最適な電源構成とは何かという課題について、将来の理想的な電源構成のあり方の提案に主体的に取り組み、追究・解決しようとしている。
3 節 人口問題					【節の主題】 世界の人口分布には偏りがあり、人口増加の傾向や人口構成も、国や地域によって異なっている。世界には、国や地域によってどのような人口問題があり、どのような対策が行われているのだろうか。	

2	11	45	p.158 -159	1 世界の人口	世界の人口分布や人口増加には、どのような傾向がみられるのだろうか。	①世界の人口分布と人口増加の傾向、人口ピラミッドからみる人口構成の特徴について理解している。 ②世界の人口分布と人口増加の傾向、人口ピラミッドからみる人口構成の特徴について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③世界の人口分布と人口増加の傾向、人口ピラミッドからみる人口構成の特徴について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2	11	46	p.160 -161	2 発展途上国の人口問題	発展途上国には、どのような人口問題があり、どのような対策が行われているのだろうか。	①発展途上国の出生率の高さや人口増加とその影響、インドでの人口増加抑制の取り組みについて理解している。 ②発展途上国の出生率の高さや人口増加とその影響、インドでの人口増加抑制の取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③発展途上国の出生率の高さや人口増加とその影響、インドでの人口増加抑制の取り組みについて、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2	11	47	p.162 -164	3 先進国の人口問題	先進国には、どのような人口問題があり、どのような対策が行われているのだろうか。	①先進国の高齢化の進展や労働者不足と移民受け入れの課題、フランスでの人口増加維持の取り組み、日本の人口問題について理解している。 ②先進国の高齢化の進展や労働者不足と移民受け入れの課題、フランスでの人口増加維持の取り組み、日本の人口問題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③先進国の高齢化の進展や労働者不足と移民受け入れの課題、フランスでの人口増加維持の取り組み、日本の人口問題について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
4 節 食料問題					【節の主題】 世界には飢餓に苦しむ人がある一方で、飽食が問題になっている国もある。このような食料需給の偏りが生じるのはなぜだろうか。また、食料問題を解決するためには、どのような取り組みが必要だろうか。	
2	12	48	p.166 -167	1 飢餓と飽食	飢餓や飽食は、どのような問題なのだろうか。また、なぜ発生するのだろうか。	①発展途上国の飢餓の問題、先進国に偏る食料の問題について理解している。 ②発展途上国の飢餓の問題、先進国に偏る食料の問題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③発展途上国の飢餓の問題、先進国に偏る食料の問題について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2	12	49	p.168 -169	2 地域で異なる食料問題への取り組み	食料問題への取り組みは、地域によってどのような違いがあるのだろうか。	①食料の増産を目指すウガンダの取り組み、日本の食料問題について理解している。 ②食料の増産を目指すウガンダの取り組み、日本の食料問題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③食料の増産を目指すウガンダの取り組み、日本の食料問題について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

2	12	50	p.170 -171	【アクティブ】慢性的な飢餓をなくすには？	慢性的な飢餓をなくすには？安定した食料供給について私たちができていることを考えよう。	【アクティブでの評価規準】 ①慢性的な飢餓をなくすにはという課題について、写真や統計地図・グラフを用いて、必要な情報を読み取る技能を身につけている。 ②慢性的な飢餓をなくすにはという課題について、地域の自然や経済、社会、歴史などに着目して、慢性的な飢餓が生じる要因を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③慢性的な飢餓をなくすにはという課題について、日本に期待される取り組みや自分ができることの提案に主体的に取り組み、追究・解決しようとしている。
5 節 都市・居住問題					【節の主題】 世界にはさまざまな規模の都市があり、近年は、都市人口が急増している地域も多い。世界には、国や地域によってどのような都市・居住問題があり、どのような対策が行われているのだろうか。	
2	12	51	p.172 -173	1 世界の都市の発達	世界の都市の発達や大都市の分布、都市の構造には、どのような傾向があるのだろうか。	①都市の発達、大都市の形成と分布、都市内部の機能と構造について理解している。 ②都市の発達、大都市の形成と分布、都市内部の機能と構造について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③都市の発達、大都市の形成と分布、都市内部の機能と構造について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2	12	52	p.174 -175	2 発展途上国の都市・居住問題	発展途上国には、どのような都市・居住問題があり、どのような対策が行われているのだろうか。	①発展途上国における都市への人口集中がもたらす問題、その結果としての都市の退廃の問題、メキシコの都市・居住問題について理解している。 ②発展途上国における都市への人口集中がもたらす問題、その結果としての都市の退廃の問題、メキシコの都市・居住問題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③発展途上国における都市への人口集中がもたらす問題、その結果としての都市の退廃の問題、メキシコの都市・居住問題について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2	12	53	p.176 -177	3 先進国の都市・居住問題	先進国には、どのような都市・居住問題があり、どのような対策が行われているのだろうか。	①先進国における都市からの人口流出がもたらす問題、その対策としての都市の再生の課題、日本の都市・居住問題について理解している。 ②先進国における都市からの人口流出がもたらす問題、その対策としての都市の再生の課題、日本の都市・居住問題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③先進国における都市からの人口流出がもたらす問題、その対策としての都市の再生の課題、日本の都市・居住問題について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
6 節 地球的課題の解決に向けて					【節の主題】 現代世界には、さまざまな地球的課題が存在する。地球的課題の解決に向けて、世界の国・地域にはどのような取り組みが求められているのだろうか。また、私たちには何ができるのだろうか。	

2	12	54	p.178 -179	1 課題解決に向けた取り組み	地球的課題の解決に向けて、どのような取り組み行われているのだろうか。	①地球的課題の解決に向けた取り組みと、持続可能な社会の実現のために私たちができることについて理解している。 ②地球的課題の解決に向けた取り組みと、持続可能な社会の実現のために私たちにできることについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地球的課題の解決に向けた取り組みと、持続可能な社会の実現のために私たちにできることについて、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
3	1	55	p.180 -181	【アクティブ】地球的課題をどう解決する？	地球的課題をどう解決する？政府・企業・市民、それぞれの立場から解決方法を考えよう。	【アクティブでの評価規準】 ①地球的課題をどう解決するかという課題について、資料や写真を用いて、必要な情報を読み取る技能を身につけている。 ②地球的課題をどう解決するかという課題について、それぞれの地球的課題に着目して、原因や影響、緊急性や重要性を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地球的課題をどう解決するかという課題について、地球的課題を政府・企業・市民の立場からどう解決するかという提案に主体的に取り組み、追究・解決しようとしている。
3部1章 自然環境と防災					【この章で学ぶこと】 世界各地では、地震や津波、火山の噴火、熱帯低気圧などの自然現象によって、さまざまな自然災害が発生している。そうしたなか、日本の自然環境にはどのような特徴があるのだろうか。また、自然災害に強い地域をつくるためにはどのような取り組みが必要なのだろうか。この章では、そうした課題の解決に向けて、「人間と自然の関わり」や、「地域の特徴」に着目して、災害に強い地域づくりについて考えていこう。	【章の評価規準】 ①我が国をはじめ世界でみられる自然災害や生徒の生活圏でみられる自然災害をもとに、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身につけている。 ②地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
序説 人々の生活と自然災害						

3	1	56	p.184 -185	1 多様な自然環境と共生する社会を目指して	多様な自然環境と共生するためには、どのような考え方が求められるのだろうか。	①自然現象と自然災害の違い、自然現象の被害の受けやすさ、自然環境と共生する社会について理解している。 ②自然現象と自然災害の違い、自然現象の被害の受けやすさ、自然環境と共生する社会について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③自然現象と自然災害の違い、自然現象の被害の受けやすさ、自然環境と共生する社会について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1 節 日本の自然環境					【節の主題】 世界や日本の各地で発生する自然災害は、その地域の地形や気候といった自然環境と密接に結びついている。日本の地形や気候には、どのような特徴があるのだろうか。	
3	1	57	p.186 -187	1 日本の地形	日本の地形にはどのような特徴があり、どのようにして形成されたのだろうか。	①プレートが重なり合う日本列島、日本列島の背骨をなす山地、日本の河川と沖積平野の特徴について理解している。 ②プレートが重なり合う日本列島、日本列島の背骨をなす山地、日本の河川と沖積平野の特徴について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③プレートが重なり合う日本列島、日本列島の背骨をなす山地、日本の河川と沖積平野の特徴について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
3	1	57	p.188 -189	2 日本の気候	日本の気候にはどのような特徴があり、季節によってどのような変化があるのだろうか。	①日本の気候の地域差、季節の特徴について理解している。 ②日本の気候の地域差、季節の特徴について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③日本の気候の地域差、季節の特徴について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2 節 地震・津波と防災					【節の主題】 変動帯に位置する日本は、数多くの地震によってさまざまな被害を受けてきた。地震や津波は、どのような被害をもたらすのだろうか。また、地震や津波の発生に備えて、どのような取り組みが必要なのだろうか。	
3	1	58	p.190 -191	1 地震・津波による災害	地震・津波による災害は、地域によってどのような違いが生じるのだろうか。	①地震の種類と特徴、地域で異なる震災の被害について理解しており、地理的技能を身につけている。 ②地震の種類と特徴、地域で異なる震災の被害について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地震の種類と特徴、地域で異なる震災の被害について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

3	1	59	p.192-193	2 地震・津波の被災地の取り組み	地震・津波に対して、どのような防災・減災の取り組みが行われているのだろうか。	①東日本大震災と防災の取り組み、阪神・淡路大震災と防災の取り組みについて理解しており、地理的技能を身につけている。 ②東日本大震災と防災の取り組み、阪神・淡路大震災と防災の取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③東日本大震災と防災の取り組み、阪神・淡路大震災と防災の取り組みについて、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
3 節 火山災害と防災					【節の主題】 火山の多い日本では、火山からさまざまな恵みを受けるとともに、噴火によって多大な被害を受けてきた。火山はどのような恵みや災害をもたらすのだろうか。また、火山災害に備えて、どのような取り組みが必要なのだろうか。	
3	1	60	p.196-197	1 火山の恵みと災害	火山は、人々の生活にどのような恵みや災害をもたらすのだろうか。	①火山の分布、火山の恵み、火山災害の特徴について理解しており、地理的技能を身につけている。 ②火山の分布、火山の恵み、火山災害の特徴について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③火山の分布、火山の恵み、火山災害の特徴について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
3	1	61	p.198-199	2 火山と共生する地域の取り組み	火山と共生していくためには、どのような取り組みが必要なのだろうか。	①火山の恵み・災害と共生する島原市の取り組み、火山灰と共存する鹿児島市の取り組みについて理解しており、地理的技能を身につけている。 ②火山の恵み・災害と共生する島原市の取り組み、火山灰と共存する鹿児島市の取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③火山の恵み・災害と共生する島原市の取り組み、火山灰と共存する鹿児島市の取り組みについて、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
4 節 気象災害と防災					【節の主題】 日本では毎年のように気象災害が発生している。これらの気象災害にはどのような種類があり、どのような被害をもたらすのだろうか。また、気象災害に備えて、どのような取り組みが必要なのだろうか。	
3	2	62	p.202-203	1 さまざまな気象災害	気象災害は、場所によってどのような違いがあるのだろうか。	①地域で異なる気象災害、都市化による水害の変化について理解しており、地理的技能を身につけている。 ②地域で異なる気象災害、都市化による水害の変化について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地域で異なる気象災害、都市化による水害の変化について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

3	2	62	p.204 -205	2 気象災害への各地の取り組み	気象災害に対して、どのような取り組みや課題がみられるのだろうか。	①台風による災害とその後の取り組み、日本海側の大雪対策について理解しており、地理的技能を身につけている。 ②台風による災害とその後の取り組み、日本海側の大雪対策について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③台風による災害とその後の取り組み、日本海側の大雪対策について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
3	2	63	p.208 -209	【アクティブ】自然災害に強い土地利用は？	自然災害に強い土地利用は？新旧地形図を比較して災害リスクと防災を考えよう。	【アクティブでの評価規準】 ①自然災害に強い土地利用とは何かという課題について、新旧地形図を比較して、必要な情報を読み取る技能を身につけている。 ②自然災害に強い土地利用とは何かという課題について、集落の立地や自然災害のリスク・対策に着目して、災害リスクと防災を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③自然災害に強い土地利用とは何かという課題について、自然災害に強い大きな病院の立地の構想に主体的に取り組み、追究・解決しようとしている。
5節 自然災害への備えと復旧・復興					【節の主題】 自然災害は事前の備えで被害を軽減することができる。自然災害への備えとして、私たちはどのようなことができるのだろうか。また復旧・復興の取り組みとして、自治体はどのようなことができるのだろうか。	
3	2	64	p.210 -211	1 災害発生前の防災・減災に向けた取り組み	自然災害の被害を減らすためには、災害発生前にどのような取り組みが必要なのだろうか。	①自然災害発生前のハード対策とソフト対策、地域で異なる自然災害対策について理解しており、地理的技能を身につけている。 ②自然災害発生前のハード対策とソフト対策、地域で異なる自然災害対策について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③自然災害発生前のハード対策とソフト対策、地域で異なる自然災害対策について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
3	2	65	p.212 -213	2 災害発生時の対応とその後の復旧・復興	災害発生時や復旧・復興の際には、どのような取り組みが必要なのだろうか。	①自然災害発生時の自助・共助・公助の意義や情報の活用、復旧・復興の取り組み、体験・記憶の継承について理解しており、地理的技能を身につけている。 ②自然災害発生時の自助・共助・公助の意義や情報の活用、復旧・復興の取り組み、体験・記憶の継承について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③自然災害発生時の自助・共助・公助の意義や情報の活用、復旧・復興の取り組み、体験・記憶の継承について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

3	2	66	p.214 -215	【アクティブ】災害発生！どちらを選ぶ？	災害発生！どちらを選ぶ？防災ゲーム「クロスロード」で災害発生時にとる選択を考えよう。	【アクティブでの評価規準】 ①災害発生時にとる選択を考えるという課題について、空中写真や標高図、地形図、ハザードマップを用いて、必要な情報を読み取る技能を身につけている。 ②災害発生時にとる選択を考えるという課題について、防災ゲーム「クロスロード」に着目して、災害発生時にとる行動を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③災害発生時にとる選択を考えるという課題について、意見交換やタイムライン（防災行動計画）の作成に主体的に取り組み、追究・解決しようとしている。
3部2章 生活圏の調査と地域の展望				【この章で学ぶこと】 私たちの生活圏は、周辺地域との密接な結びつきによって成り立っている。そうした結びつきのなかで暮らしやすい生活環境が整えられてきた。一方で、生活圏では人口問題や都市・居住問題、自然災害など、多くの課題も生じている。それらの課題を解決し、持続可能な地域社会をつくるため、私たちは今後どうしていけばよいのだろうか。この章では、「他地域との結びつき」や「地域の特徴」に着目して、身近な地域や生活圏への参画のあり方について考えていこう。	【章の評価規準】 ①生活圏の調査をもとに、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。 ②生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結びつき、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ③生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	
1節 生活圏の調査と地域の展望				【節の主題】 私たちの生活圏には、多岐にわたる地理的な課題がみられる。生活圏が抱える課題を探究するためには、どのような方法で地域の特徴をとらえ、どのように課題解決のための展望を見いだしていけばよいのだろうか。		
3	3	67	p.218 -219	1 地理的な課題と地域調査	生活圏の地理的な課題を探究するためには、どのように調査を始めればよいのだろうか。	①地理的な課題の解決に向けた探究、地域調査の「問い」の設定について理解している。 ②地理的な課題の解決に向けた探究、地域調査の「問い」の設定について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地理的な課題の解決に向けた探究、地域調査の「問い」の設定について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

年間指導計画案・評価規準例 帝国書院「高等学校 新地理総合」 地総046-901

※一部変更の可能性がございます。あらかじめご了承ください。

3	3	68	p.220 -221	2 現地調査の準備	現地調査の前には、どのように事前調査や調査計画の作成を行えばよいのだろうか。	①事前調査の方法、仮説の設定と調査計画の作成について理解している。 ②事前調査の方法、仮説の設定と調査計画の作成について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③事前調査の方法、仮説の設定と調査計画の作成について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
3	3	69	p.224	3 現地調査の実施	現地調査を効果的に行うには、どのような準備や行動が必要だろうか。	①現地調査の方法について理解している。 ②現地調査の方法について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③現地調査の方法について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
3	3	70	p.226	4 調査の分析と発表	調査結果をまとめて発表する際には、どのような工夫をしたらよいのだろうか。	①調査結果の分析と仮説の検証、調査結果のまとめ・発表の方法について理解している。 ②調査結果の分析と仮説の検証、調査結果のまとめ・発表の方法について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③調査結果の分析と仮説の検証、調査結果のまとめ・発表の方法について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

※ 自然環境を視点とした事例から1地域、言語・宗教を視点とした事例から1地域、歴史的背景を視点とした事例から1地域、産業の営みを視点とした事例から1地域、計4地域を選択して学習する。